

# ケアマネみやざき

一般社団法人  
宮崎県介護支援専門員協会  
ケアマネみやざきNo.12  
平成26年3月17日発行  
発行責任者  
担当理事 坂口 和幸

## 「会長挨拶」

会員の皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、世界のどの国もかつて経験したことのない超高齢社会を迎えた現代社会の中で、介護を取り巻く環境は複雑さを極めるばかりであり、医療・介護・福祉に関わる全ての職能が一体となって、日々噴出する社会的課題を多角的に検証する必要性を感じています。多種多様なニーズを抱える利用者の皆様に「適切で質の高いケアマネジメント」を提供できるように、私たちは社会保障制度の変化にも常に敏感に追随しながら学びを深めていく必要があると考えています。

ところで、国の推進事業の核となっている「地域包括ケアシステムの構築」のために、地域の中で医療と介護が一体的に提供されることが必要であり、そのためには医療と介護の連携をさらに推進していくことが重要となります。その為に介護支援専門員がなすべきことは、各県の医師会・看護協会・社会福祉士会・介護福祉士会をはじめ、多くの職能団体と機能的に連携しながら、全国の介護支援専門員協会とともに医療と介護の連携の拡充を図るという崇高な使命を遂行しつつ、更に介護支援専門員の地位向上のためにたゆまない努力を続けることだと考えております。介護支援専門員の国家資格化、報酬を中心とした待遇改善などの問題は大きな関心事であるばかりではなく、介護支援専門員資格そのものの存続や、介護支援専門員資格で自立した生活が困難になることさえ、懸念されています。このような憂いを払拭するためには、介護保険を含む社会保障制度の決定機関である国会の場で、私たち介護支援専門員の想いを取り上げてもらうことが必要です。そのために、まずは九州・沖縄の会員ひとり一人と日本介護支援専門員協会若しくは国との双方向の相互理解を先進的に、地域の介護支援専門員団体、県介護支援専門員協会、そして日本介護支援専門員協会という三層構造を実現し、私たち、介護支援専門の声日本介護支援専門員協会を介してそのまま国に伝わり、制度改革にも結びつけることが重要となります。今後とも会員の皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員みなさま御一人おひとりの御健勝とご発展を祈念申し上げます。

(2014.2.9 九州ブロック研究大会より)



一般社団法人  
宮崎県介護支援専門員協会  
会長 牛谷 義秀

# 第5回 日本介護支援専門員協会 九州・沖縄ブロック研究大会 in みやざき

平成26年2月9日に、研究テーマ『ケアマネージャーのこの先の行方を語る』と題して、第5回日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック研究大会がシーガイアコンベンションセンターを会場として盛大に開催されました。残念ながら、2月8日の関東方面大雪のため、鷲見会長の来県が叶いませんでしたが、九州各県の皆様が集い、学びを深めることが出来たと思います。まずは、前日に行われた懇親会の様子もあわせて写真を掲載いたします。





## 九州・沖縄ブロック研究大会inみやざき 講演・セミナー報告

研究大会では、特別講演・日本介護支援専門員協会活動報告・基調講演・ランチョンセミナー、午後からは3会場で各分科会が行われ、たいへん充実した講演・分科会となりました。

### 特別講演

厚生省 遠藤課長補佐は、介護支援専門員の仕事は生涯で最も困難な時期を支え、今一度「生きる力」を引き出し、残された人生を満足できる支援を行うことで、利用者のみでなく家族や地域も幸せにする事ができる。また、地域を豊かにする役割も介護支援専門員は担っている。介護支援専門員は根拠をしっかりと持った専門職になりましょうと熱いメッセージをいただきました。天候不良の中、ご来県いただき本当にありがとうございました。



厚生労働省老健局振興課  
課長補佐 遠藤 征也 氏

### 基調講演

宮崎県ではおなじみの柳田氏が、番組放送中に見舞われた不運な事故から重度障害を負われ、改めて人との出会いの大切さや、今の自分自身の姿を受け入れていく中での葛藤や思いを語っていただきました。講演の最後には「前に進むしかない」という言葉が印象的で、これまでの事を振り返ることも必要だが、しかし過去に生きることは出来ず、未来を見ての行動がいかに大切かを痛感できた講演でした。



UMKテレビ宮崎  
柳田 哲志 氏

### ランチョンセミナー

昼食を摂りながらのセミナーでしたが、皆さん箸を休め休め講演に聴き入られておられました。先生は認知症の方には、言葉や理屈ではなく、五感「触・視・聴・臭・味」で感じてもらうことが大事。幸福を感じる一番の原因は「関係性」であり、繋がりが薄れると幸福を感じる事が出来ない。大切な関係性が保てるマネジメント作りを考えましょうと締めくくられました。

またランチョンセミナーは、製薬会社エーザイ株式会社様に共催として多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました。



大悟病院認知症疾患医療センター  
井上 輝彦 氏

分科会では3つのテーマ別に分かれ事例発表・検討が行われました。

各県代表のシンポジストの事例発表の後各分科会ともに様々な意見交換が行われていました。各シンポジストの皆さまご協力ありがとうございました。



## 日本介護支援専門員協会

### 九州・沖縄ブロック支部長会議より

平成26年2月8日 宮崎市ウェルシティーにおいて九州・沖縄支部長会議が開催されました。会議では三層構造の確立への進捗状況と確立後の課題についての議論が行われました。鹿児島と福岡が実際に確立しており、宮崎でも、3月開催される総会で承認が得られるよう準備を進めているとの報告が行われました。

また柴口副会長より、介護支援専門員の地位向上のためには、ロビー活動も重要であり、立法の中での組織化率を高めていかなければ、今後報酬を勝ち取ることは難しくなってくるとの話がありました。



今回、日本介護支援専門員協会 九州・沖縄ブロック研究大会は宮崎県で開催されました。

次回の開催地は、佐賀県となっております。今回の研究大会には、佐賀県からも多数の方にご参加いただきました。今度は私たちが佐賀県へ行き、大会を盛り上げましょう。

**開催日時** 平成27年1月31日(土)  
今から予定に入れておいてくださいね♪

## 平成26年度総会・研修会のお知らせ

平成26年度第1回総会・研修会の開催日時が決定いたしました。

平成26年6月8日(日)

MRT MICC にて

詳細につきましては、案内文書を送付いたします。まずは、皆さんの予定に入れてくださいね♪

## 宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

### 平成25年6月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	549	15
小林・えびの・西諸	97	0
西都・児湯	84	0
日南・串間	88	1
都城・北諸県	162	7
日向・東臼杵	141	1
延岡・西臼杵	114	0
合計	1,235	24

宮崎での、平成25年度介護支援専門員合格者は、211名でした。

この中から一人でも多くの方に、県協会へ御入会いただきたいと思えます。

会員の皆さま方からの、入会へのお声かけのご協力をよろしくお願いいたします。

## 編集後記

今回、沢山の方のご協力により、九州・沖縄ブロック研究大会が無事に終了いたしました。研究大会後のアンケートにも多くの方の御意見がありましたので、ここでご報告いたします。◆遠藤様が介護支援専門員の事を重視いただいていることが分かりました◆柳田様の講演がとても感動しました。今を頑張ろうと思えます◆九州・全国でみんな頑張っているんですね。私も今日から気持ちを切り替えて頑張ります◆全体的に時間が足りなかった。いい話だったのでもっとゆっくり聴きたかった◆ランチョンセミナーでの井上先生の講演がとても素晴らしかったが時間がおしてしまい、バタバタになったのが残念でした。等々沢山のお声を聴かせていただきました。

K. S